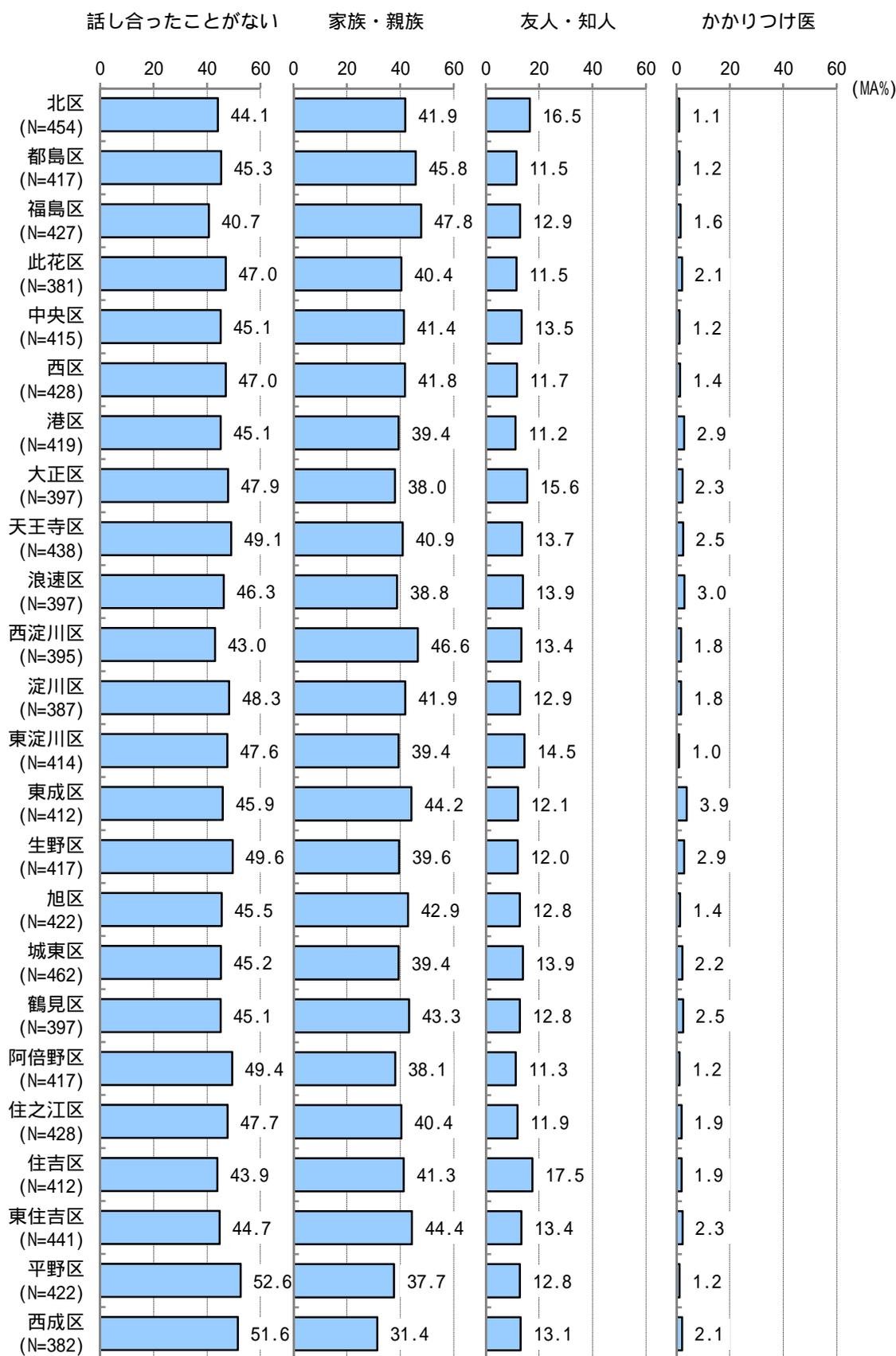


居住区別でみると、「話し合ったことがない」の回答割合は平野区が52.6%で最も高く、「家族・親族」は福島区が47.8%で最も高くなっている。(図16-b)

【図16-b 終末期についての話し合いの有無(居住区別)】

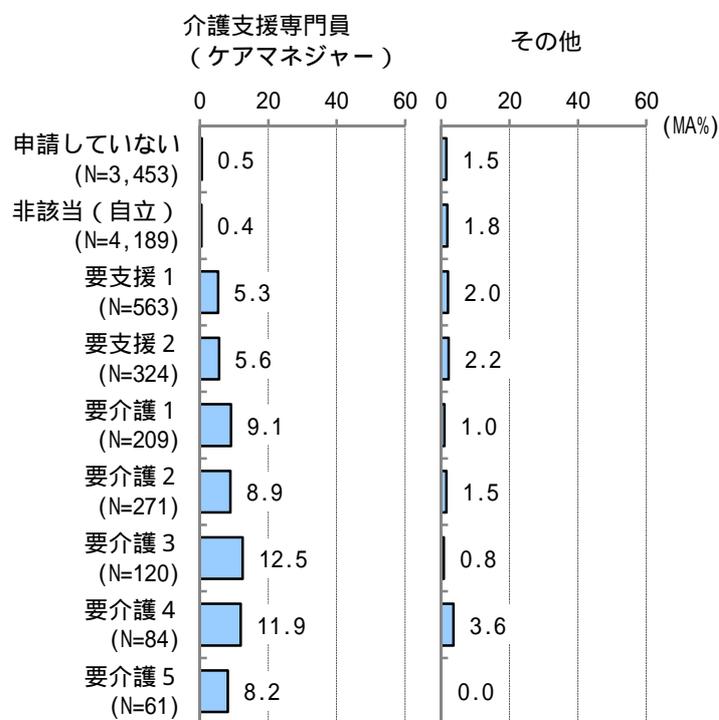
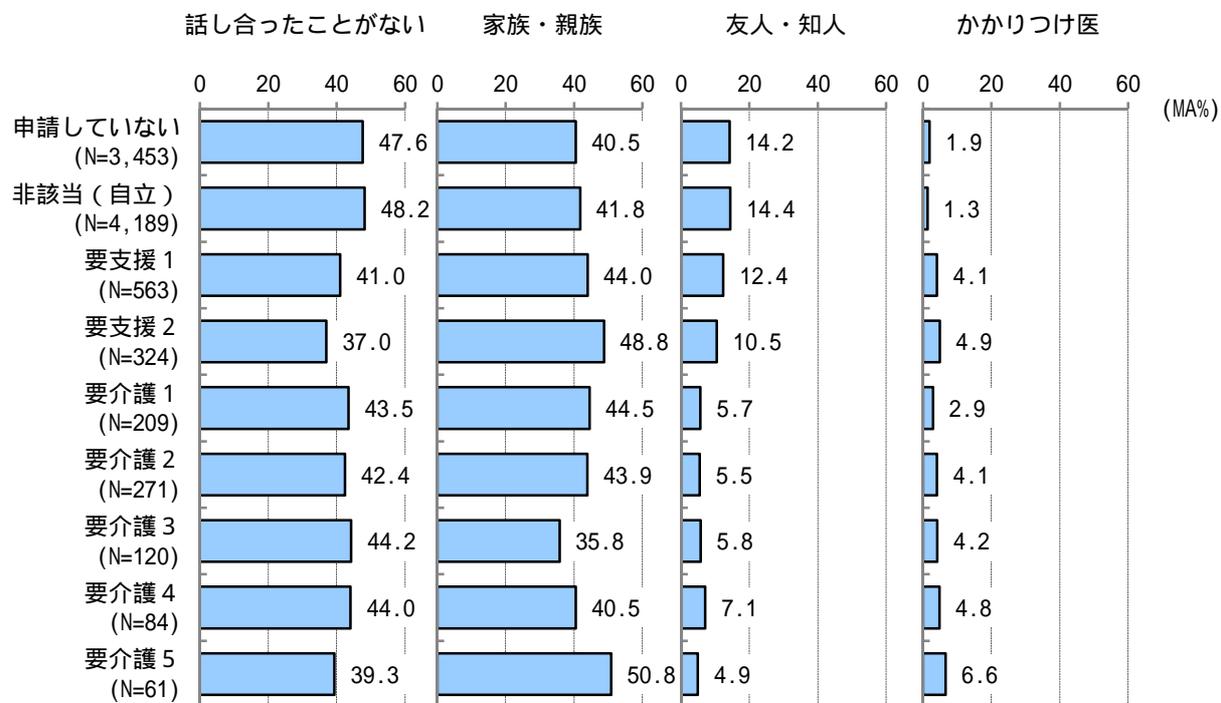


【図16-b 終末期についての話し合いの有無（居住区別）】



介護度別で見ると、「話し合ったことがない」の回答割合は、非該当（自立）で最も高く、次いで申請していないとなっている。「家族・親族」の回答割合は、要介護5で最も高くなっている。（図16-c）

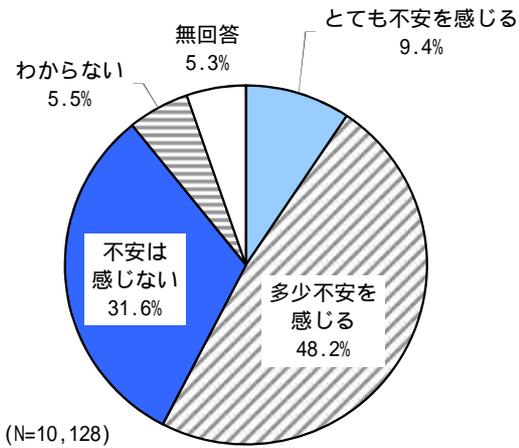
【図16-c 終末期についての話し合いの有無（介護度別）】



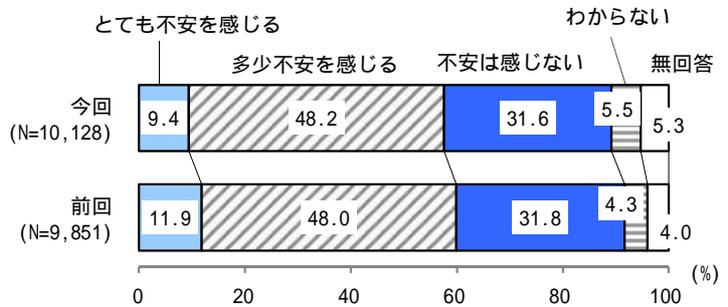
問17 日常生活全般に対する不安

あなたは、日常生活全般で不安を感じていますか。(はひとつ)

【図17 日常生活全般に対する不安】



【図17-1 日常生活全般に対する不安(比較)】



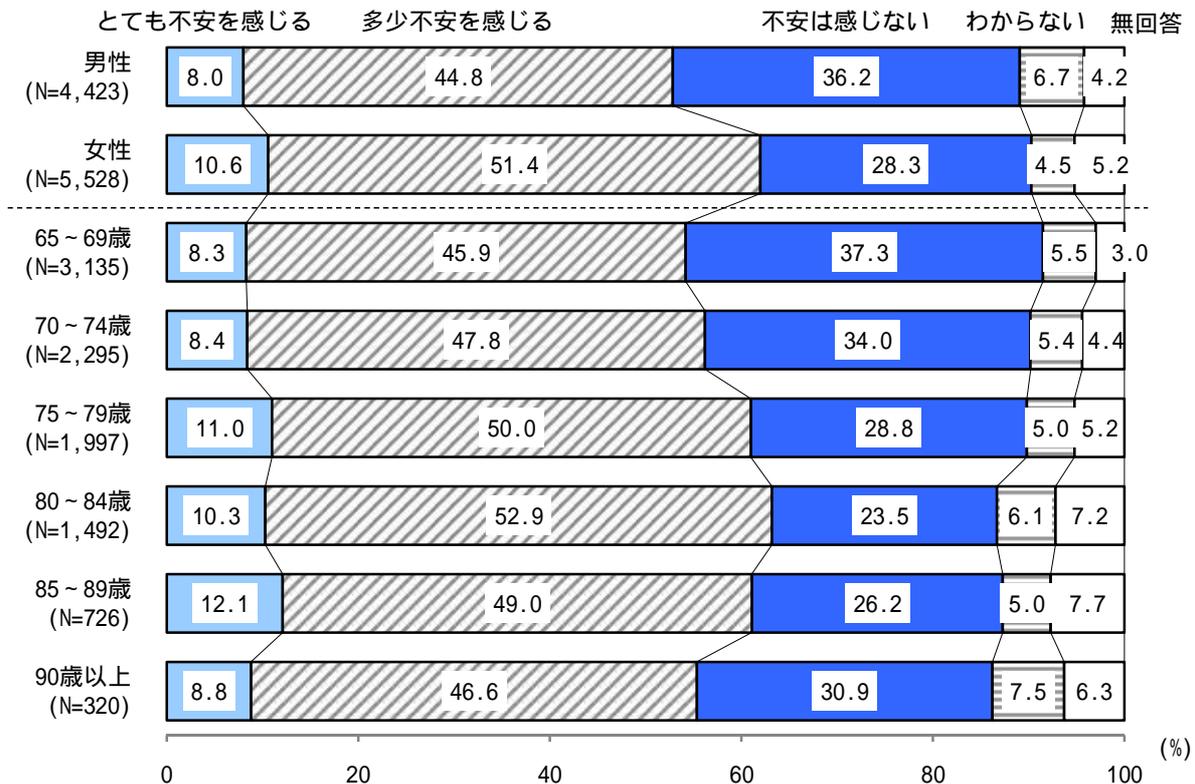
日常生活での不安の有無については、「多少不安を感じる」が48.2%で最も多く、「とても不安を感じる」とあわせて『不安を感じる』割合は57.6%となっている。(図17)

前回調査と比較すると、『不安を感じる』割合は前回より2.3ポイント低くなっている。(図17-1)

性別でみると、『不安を感じる』割合は女性の方が高くなっている。

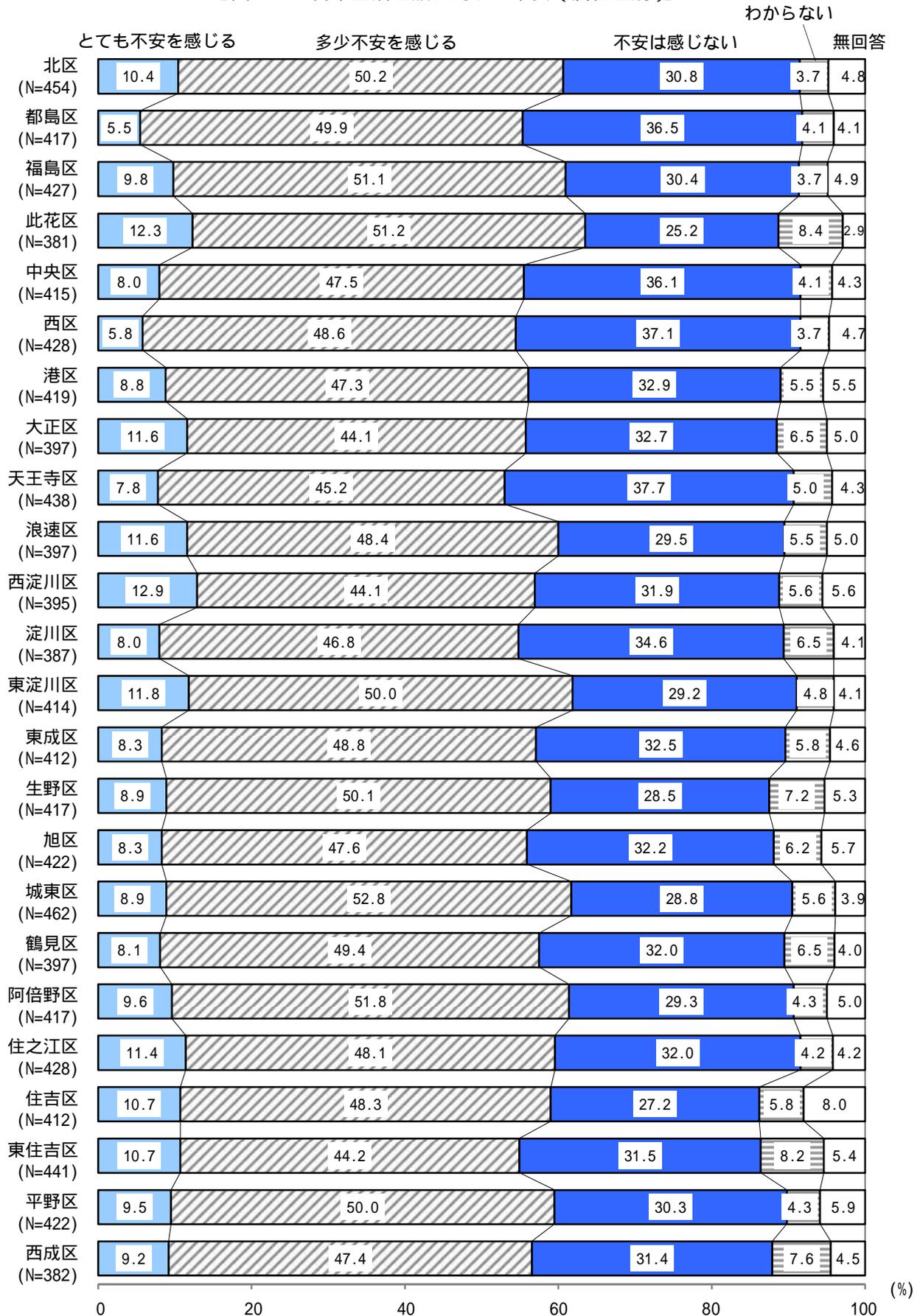
年齢別でみると、『不安を感じる』割合は80～84歳が63.2%で最も高く、いずれも6割前後を占めている。(図17-a)

【図17-a 日常生活全般に対する不安(性別・年齢別)】



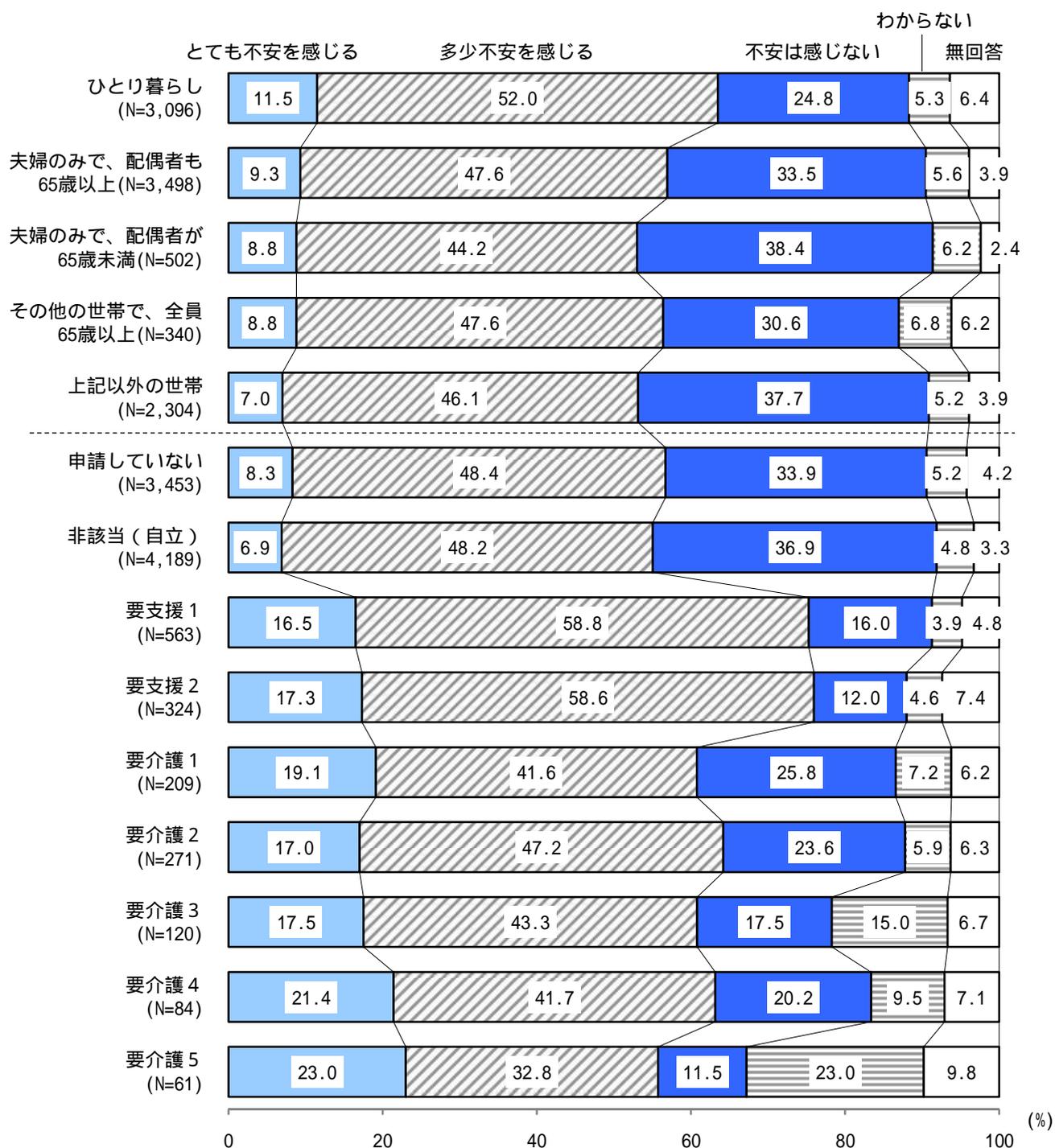
居住区別でみると、『不安を感じる』割合は、此花区が63.5%で最も多くなっている。(図17-b)

【図17-b 日常生活全般に対する不安(居住区別)】



世帯状況別でみると、『不安を感じる』割合はひとり暮らしが63.5%で最も多くなっている。介護度別でみると、要支援1と要支援2で『不安を感じる』割合が高く、8割近くを占めている。(図17-c)

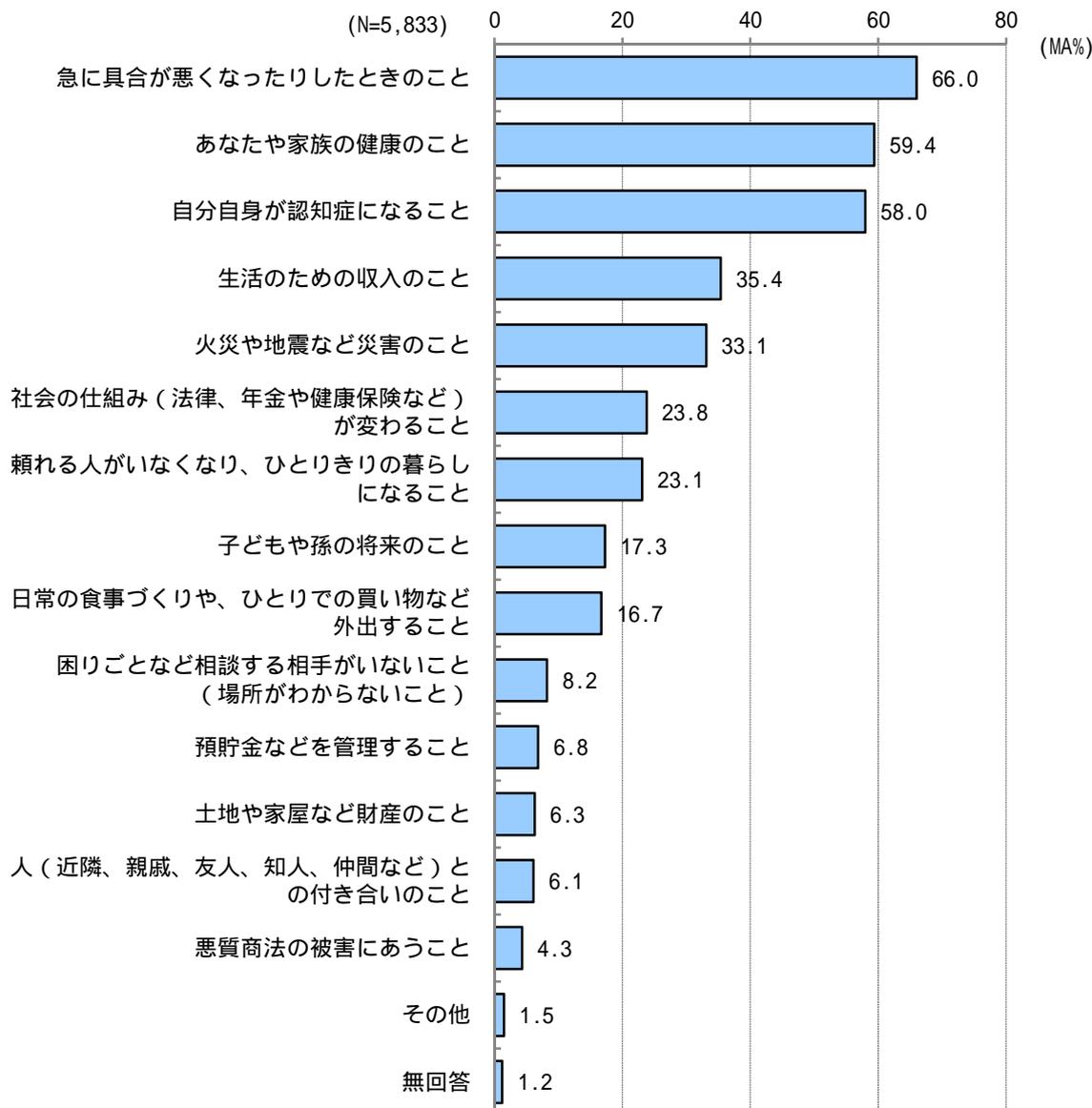
【図17-c 日常生活全般に対する不安(世帯状況別・介護度別)】



問17-1 不安に感じることの内容

【問17で「1～2」と回答された方におうかがいします。
あなたが、不安に感じることはどのようなことですか。(はいくつでも)

【図17-1-1 不安に感じることの内容】

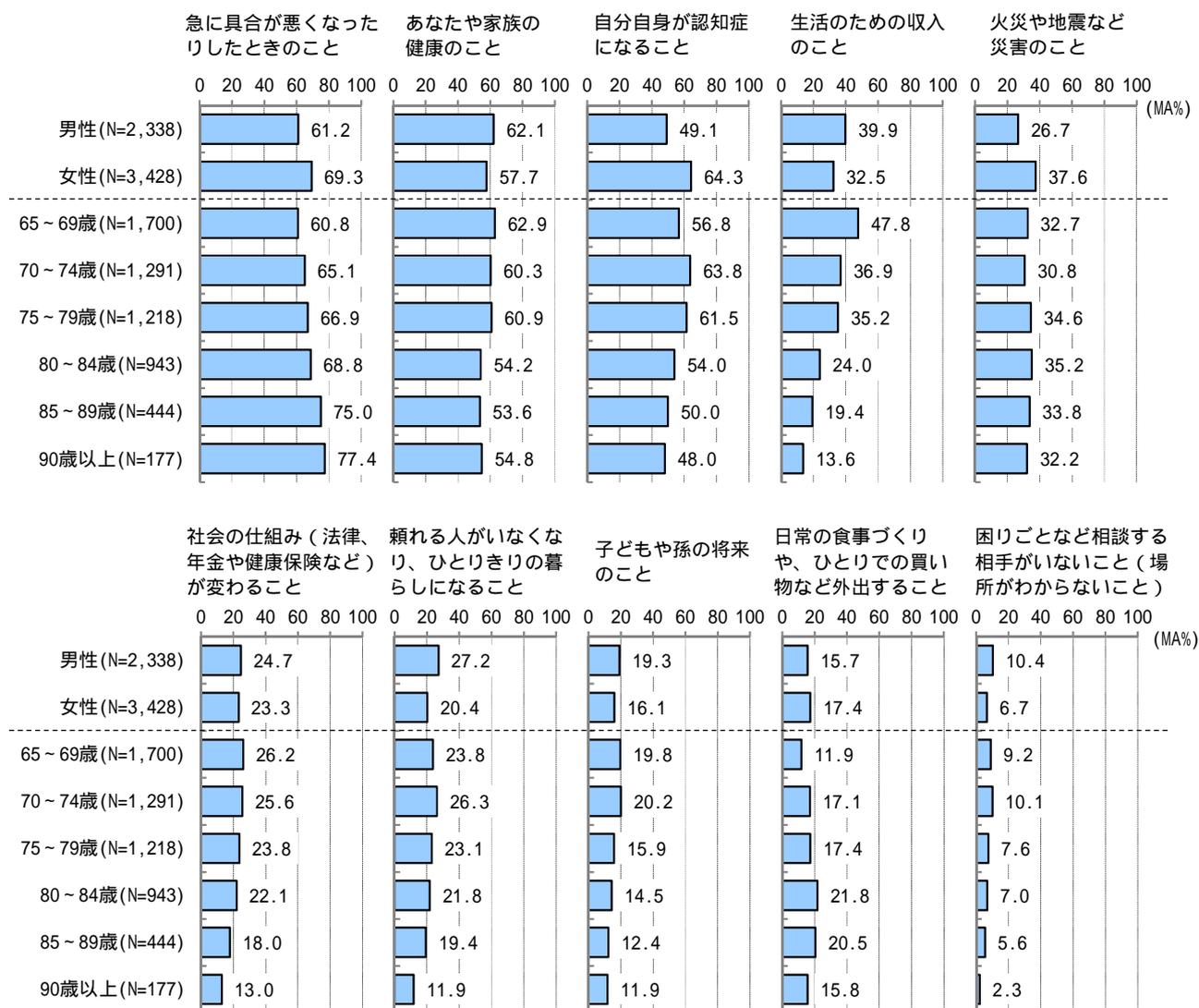


不安を感じると回答した人に、不安を感じることの内容についてたずねると、「急に具合が悪くなったりしたときのこと」が66.0%で最も多く、次いで「あなたや家族の健康のこと」(59.4%)、「自分自身が認知症になること」(58.0%)が続いている。(図17-1-1)

性別でみると、「自分自身が認知症になること」と「火事や地震など災害のこと」の回答割合は女性の方が1割程度高くなっている。

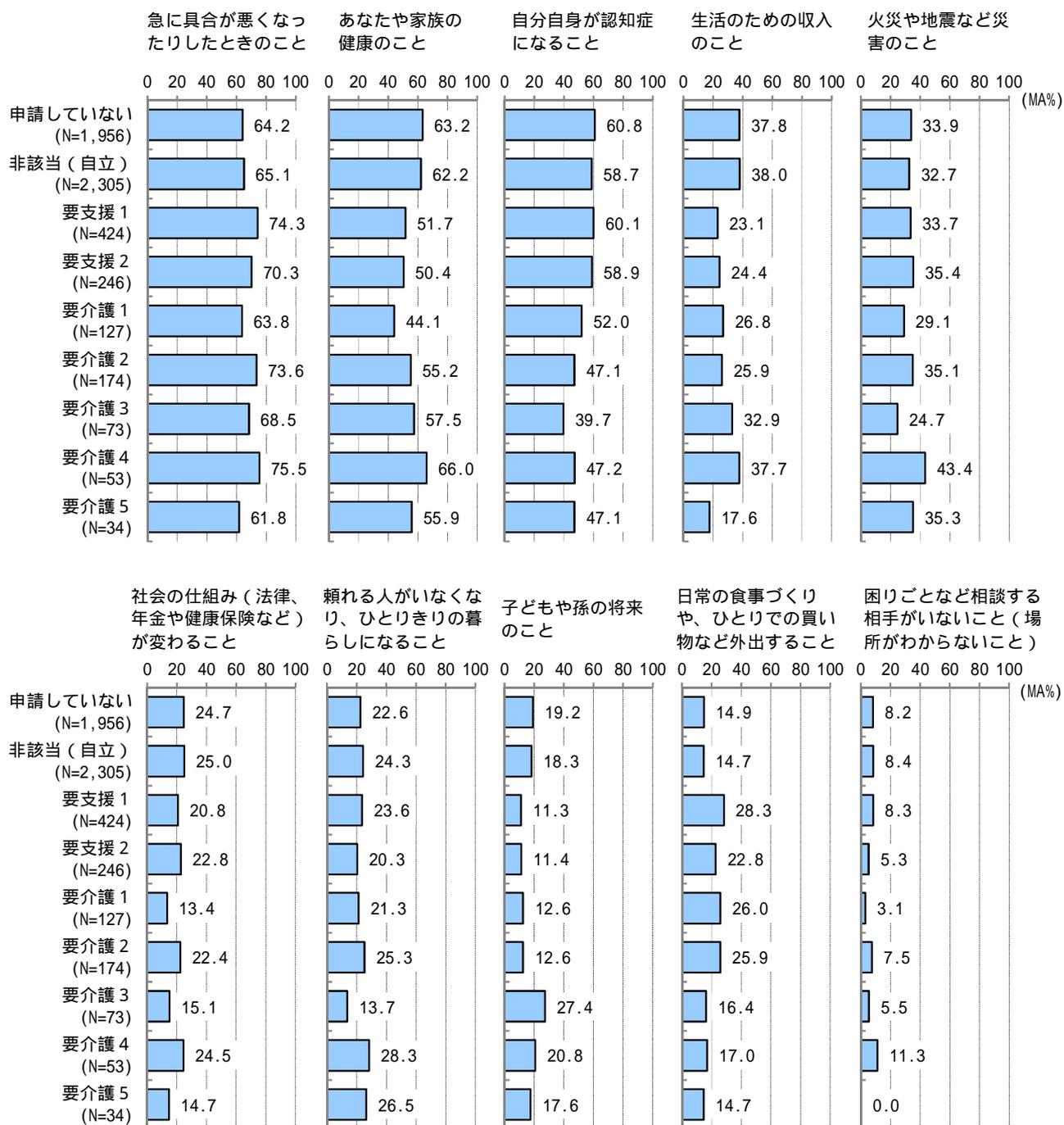
年齢別でみると、「急に具合が悪くなったりしたときのこと」の回答割合は高齢になるほど高くなっている。(図17-1-a)

【図17-1-a 不安に感じることの内容(性別・年齢別)(上位項目)】



介護度別でみると、「自分自身が認知症になること」の回答割合は、「申請していない」から「要支援2」の割合が高い。(図17-1-b)

【図17-1-b 不安に感じる内容の内容(介護度別)(上位項目)】

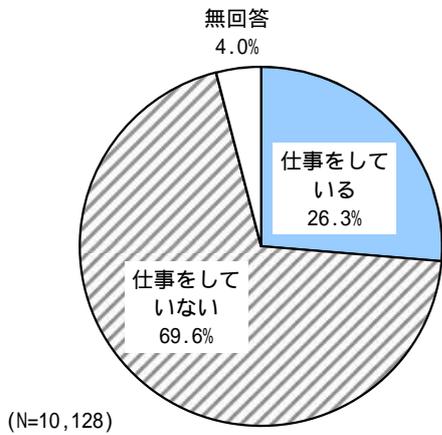


(4) 就労・地域生活の状況・意向、いきがいの状況

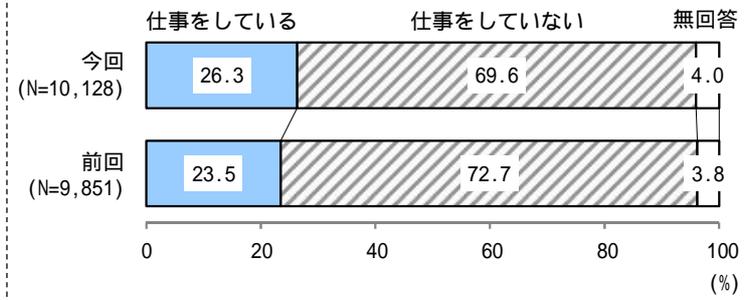
問18 就労の状況

あなたは、現在収入を得られる仕事をしていませんか。(はひとつ)

【図18 就労の状況】



【図18-1 就労の状況(比較)】



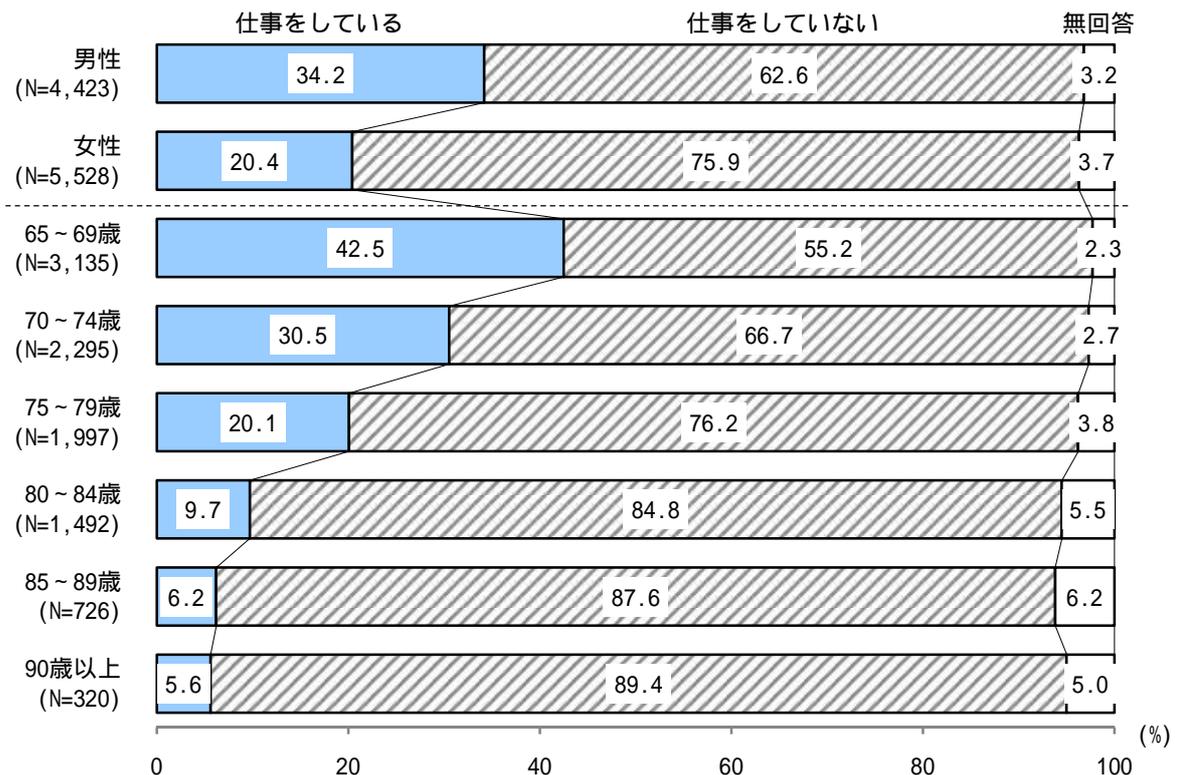
収入を得られる仕事の状況については、「仕事をしている」は26.3%、「仕事をしていない」は69.6%となっている。(図18)

前回調査と比較すると、「仕事をしている」は2.8ポイント高く、「仕事をしていない」は3.1ポイント低くなっている。(図18-1)

性別でみると、「仕事をしている」は男性の方が高くなっている。

年齢別では、高齢になるにつれて「仕事をしている」は減少している。(図18-a)

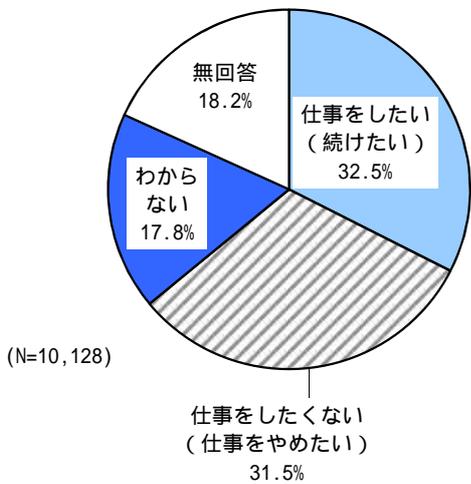
【図18-a 就労の状況(性別・年齢別)】



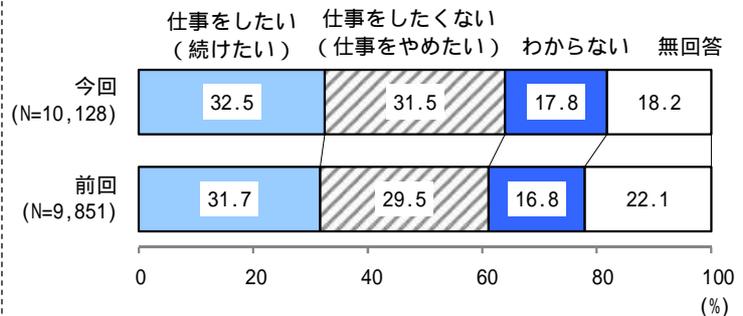
問19 今後仕事をしたいか(続けたいか)の意向

あなたは今後、仕事をしたい(続けたい)と思いますか。(はひとつ)

【図19 今後仕事をしたいか(続けたいか)の意向】



【図19-1 今後仕事をしたいか(続けたいか)の意向(比較)】



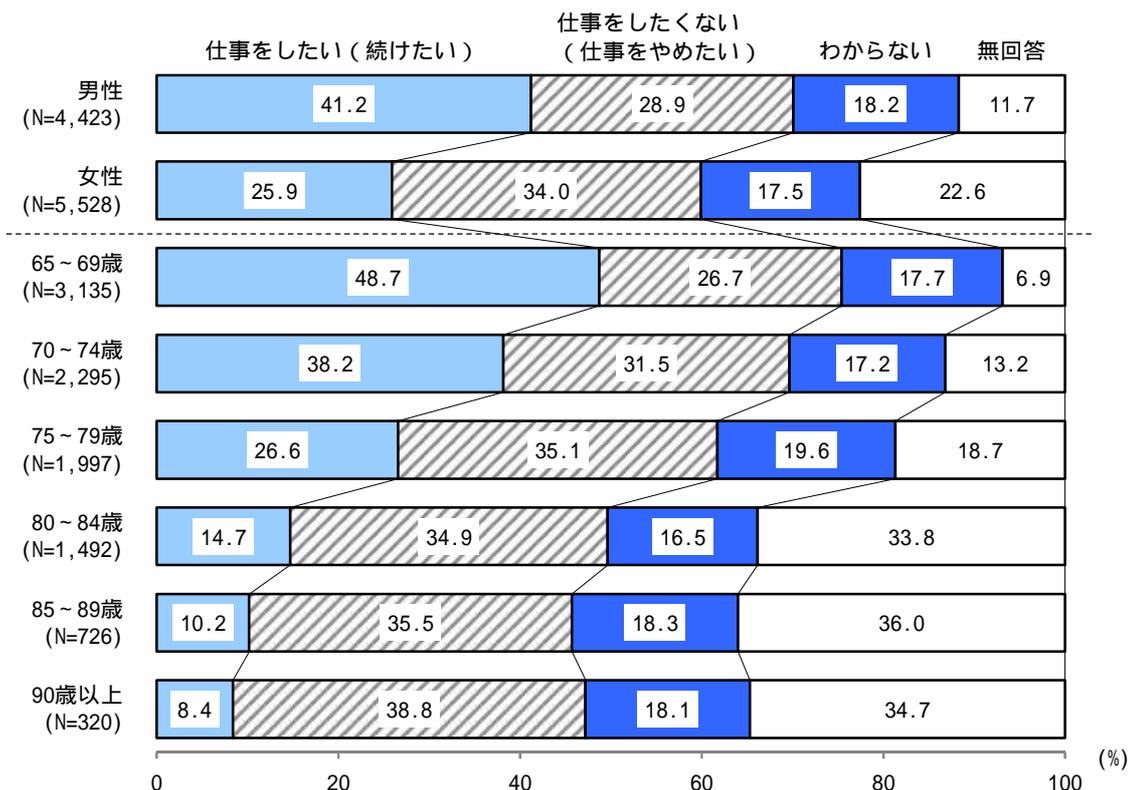
就労意向については、「仕事をしたい(続けたい)」は32.5%と最も多く、「仕事をしたくない(仕事をやめたい)」は31.5%となっている。(図19)

前回調査と比較すると、「仕事をしたくない(仕事をやめたい)」は2.0ポイント高くなっている。(図19-1)

性別で見ると、男性は「仕事をしたい(続けたい)」が4割を超えており、女性よりも多くなっている。

年齢別では、「仕事をしたい(続けたい)」が65~69歳は半数近くを占めているが、高齢になるにつれて「仕事をしたくない(やめたい)」が増加し、75~79歳で割合が逆転している。(図19-a)

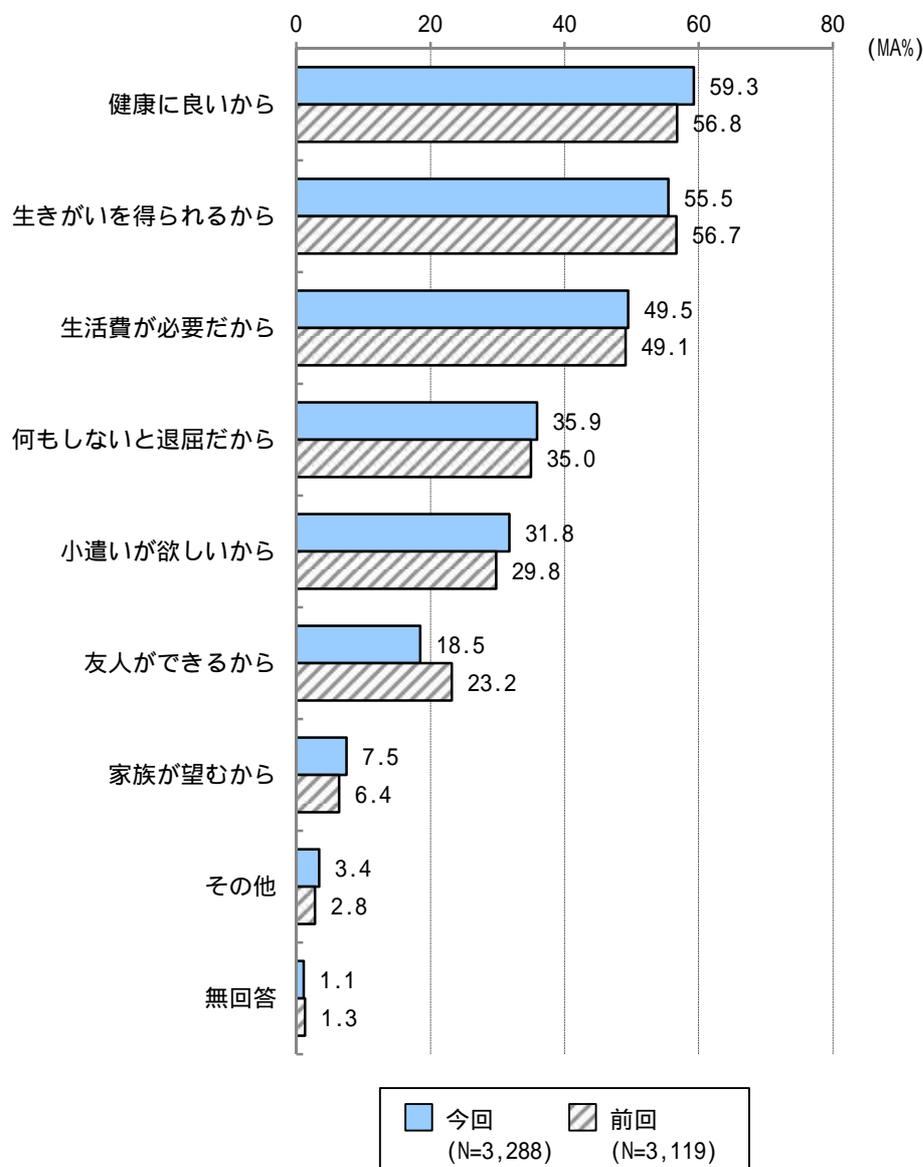
【図19-a 今後の就労意向(性別・年齢別)】



問19-1 仕事をしたい(続けたい)理由

【問19で「1 仕事をしたい(続けたい)」と回答された方におうかがいます。
あなたが、仕事をしたい(続けたい)理由は何ですか。(はいくつでも)

【図19-1-1 仕事をしたい(続けたい)理由】



仕事をしたい(続けたい)と回答した人に、その理由をたずねると、「健康に良いから」が59.3%で最も多く、次いで「生きがいを得られるから」(55.5%)、「生活費が必要だから」(49.5%)が続いている。

前回調査と比べると、ほぼ同様の傾向となっているが、「健康に良いから」が前回よりも高い割合となっている。(図19-1-1)